

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	札幌市立平岸高等学校 【日時】 平成 29 年 12 月 19 日（火） 【対象】 1・2年生 生徒 640 名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 特別活動 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	・オリンピックの意義、価値について学ぶことで、国際的スポーツ大会への関心を高め、関わり方を考える。 ・オリンピックの生き方に触れ、目標を持って努力することや、自分の可能性や能力を最大限に生かして自己実現を図ろうとする姿勢づくりのきっかけとする。
5 取組内容	・講師 鈴木 靖さん サラエボオリンピックスピードスケート日本代表 ・内容 講演会の実施。 オリンピックの歴史や精神について学ぶとともに、講師自身の体験談を通して自分自身のこれからについて考える。さらに知りたいことや興味を持ったことについて質問を訊ねる時間を設定し、理解を深める。講演会後は印象に残った内容や考えたこと、今後の自分について記述し、まとめを行う。 ・指導計画 特別活動 2時間扱い 講演会 演題「オリンピックの価値から学ぶもの～今日の自分から明日の自分へ～」



6 主な成果	・卓越、友情、敬意をキーワードに、スポーツを通して心と体を鍛えるオリンピック理念を理解することができていた。 ・選手同士が互いにベストを尽くして称え合う姿から、フェアプレーの精神や平和な世界の実現を目指すオリンピックの意義について理解することができていた。 ・鈴木さんの経験や体験談を聞き、努力を重ねる過程が大切であること、失敗は貴重な財産であるという考え方が特に印象に残ったようである。人間力を高める要素となる素直さ、真面目さ、明るさを自分自身に照らし合わせて考えることができていた。自分をよりよく高めようという意欲が湧いてきたようである。 ・質問の時間には、体育系部活動に所属する生徒が積極的に手を挙げ、試合前の体調管理方法や、大事な場面での気持ちのコントロール方法について聞くことができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・事前学習を設定する時間がなかったため、生徒の知識や意識が不十分な状態で講演会を迎えることとなってしまった。予備知識が少しでもあったならば、より深みのある学習となったであろう。 ・PTAや地域にも参加を呼びかけるべきであった。保護者にも参加していただくことで、家庭でも講演を振り返ることができたのではないか。
9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。